

2022年度(2023年3月期) 通期決算説明会

2023年 4月 28日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第4四半期実績
- 2022年度通期業績
- 2023年度通期業績予想・株主還元

■ 2022年度 通期業績

- 上期の供給制約影響などにより、オフィス・ホームIJPの販売数量は前年度から微増
- 部材費・物流費の高騰などによるコスト増加があったものの価格対応を継続し、売上収益、事業利益ともに増収・増益

■ 2023年度 通期業績予想

- インフレ継続による消費冷え込みなどで世界経済の成長は鈍化
- 供給制約が改善しオフィス・ホームIJPや商業・産業IJPの販売数量は増加、需給バランスの変動による価格低下も想定。海運運賃の改定などによる物流コスト削減も見込み、増収・増益(事業利益)を予想

■ 株主還元

- 2023年度の1株当たり年間配当は、普通配当を12円増配し74円を予定(2022年度 普通配当62円、記念配当10円)

- ご説明のポイント
- **第4四半期実績**
- 2022年度通期業績
- 2023年度通期業績予想・株主還元

2022年度 第4四半期決算 | ハイライト

(億円)	2021年度		2022年度		対前年同期	
	Q4実績	%	Q4実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,821		3,359		+537	+19.1%
事業利益	126	4.5%	143	4.3%	+16	+13.3%
営業利益	160	5.7%	145	4.3%	-15	-9.4%
税引前利益	181	6.4%	154	4.6%	-26	-14.8%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	307	10.9%	135	4.0%	-171	-55.9%
EPS*1 (円)	88.94		40.97			
為替レート (円、指数)	USD	¥116.21	¥132.28			
	EUR	¥130.45	¥141.97			
その他通貨*2	100		108			

- 営業利益・税引前利益
 - 円安進行による為替差益(その他の営業収益・金融収益)が前年同期に対して減少
 - マニユファクチャリングソリューションズ事業の減損損失(その他の営業費用)を18億円計上
- 四半期利益
 - 繰延税金資産の積み増しがあった前年同期に対して減益

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+136	+48	+75	+260
事業利益	-31	+29	+34	+32

プリンティングソリューションズ	2021年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益	1,990	2,401
セグメント利益	205	222
セグメント利益率	10.3%	9.3%

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益	1,490	1,746
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	1,189	1,361
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	129	195
その他*	171	189
事業利益	165	107
事業利益率	11.1%	6.1%

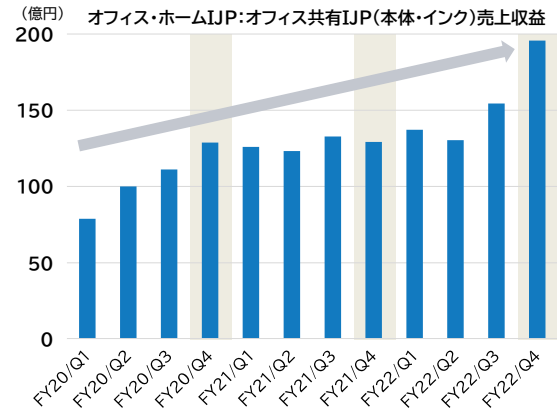
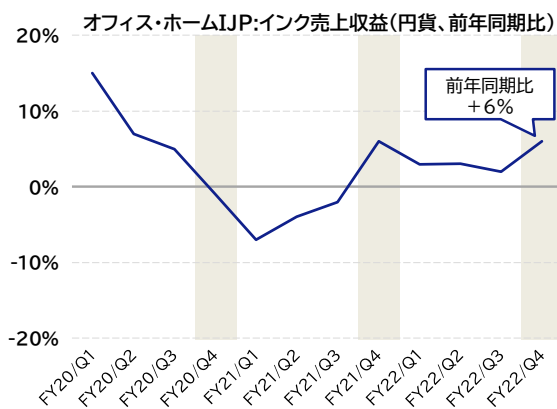
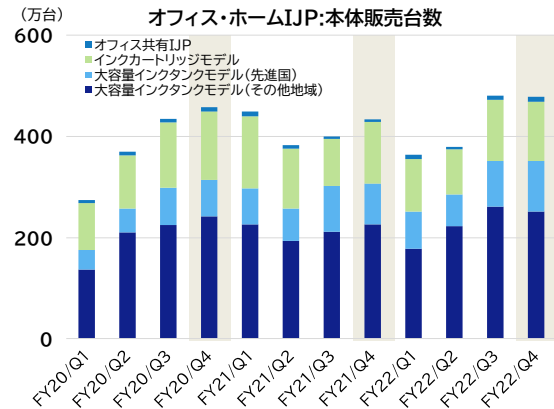
*スキナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

増減額	内為替 影響額	増減率
+410	+191	+20.6%
+17	+20	+8.3%

増減額	内為替 影響額	増減率
+256	+140	+17.2%
+172		+14.5%
+66		+51.4%
+18		+10.6%
-58	+6	-35.5%

■ プリンティングソリューションズ

- 供給制約改善で販売数量増加、為替影響もあり増収
 - 部材費、物流費が増加した一方、販売増加、為替影響もあり増益
- ## ■ オフィス・ホームプリンティング
- IJP本体は販売数量+10%、価格対応、為替影響により増収
 - IJPインク売上収益は+6%(現地通貨ベース-2%)、インクカートリッジ販売減少、大容量インクボトル・オフィス共有インク増加
 - 特にオフィス共有IJPは、本体供給制約改善、オフィス印刷回復によるインク販売増加、新商品投入効果もあり大幅な増収
 - 部材費、物流費の高騰影響により減益

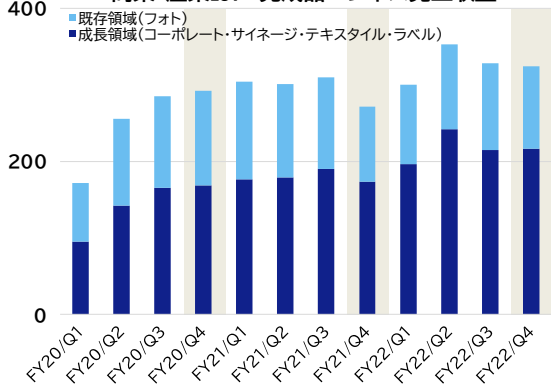


商業・産業プリンティング	2021年度 Q4実績		2022年度 Q4実績		(億円)	
	売上	利益	売上	利益	増減額	増減率
売上収益	500		653		+153	+30.7%
商業・産業IJP	352		420		+68	+19.3%
小型プリンター他	147		233		+85	+57.8%
事業利益	39		115		+75	+192.4%
事業利益率	7.9%		17.6%			

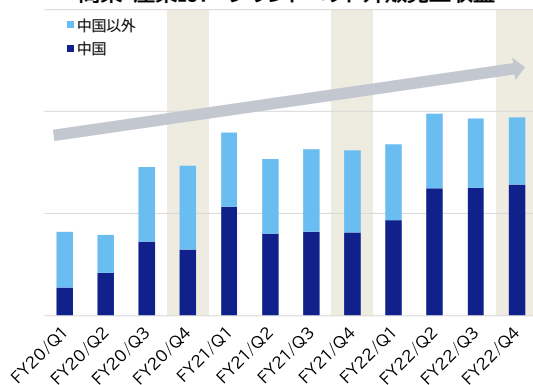
■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品ビジネスは、為替影響もあり成長領域中心に売上伸長
- プリントヘッド外販ビジネスは、中国の印刷機メーカーへの販売が増加
- 小型プリンター他は、供給制約の改善が進み増収
- 事業利益は、部材費・物流費の高騰影響を受けたものの増収により増益

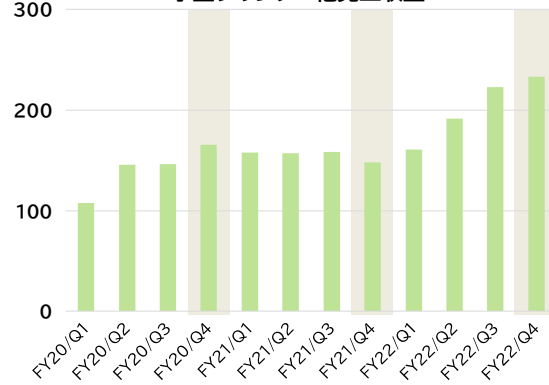
(億円) 商業・産業IJP:完成品ビジネス売上収益



商業・産業IJP:プリントヘッド外販売売上収益



(億円) 小型プリンター他売上収益



ビジュアルコミュニケーション	2021年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益	346	475
セグメント利益	21	60
セグメント利益率	6.1%	12.7%

(億円)

増減額	内為替 影響額	増減率
+128	+40	+37.2%
+39	+3	+187.3%

■ ビジュアルコミュニケーション

- ・季節性はあるものの、欧米の教育向けを中心に需要は堅調
- ・モデルミックス改善、価格対応、為替影響により増収・増益

◆ プロジェクターの販売動向*1

	2021年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益(円貨)	-12%	+40%
売上収益(現地通貨)	-17%	+28%
販売台数	-25%	+19%

*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2021年度 Q4実績	2022年度 Q4実績
売上収益	491	495
マニファクチャリングソリューションズ*2	72	70
ウェアラブル機器	81	69
マイクロデバイス他	289	296
PC	56	65
事業間売上収益	-7	-6
セグメント利益	56	26
セグメント利益率	11.4%	5.3%

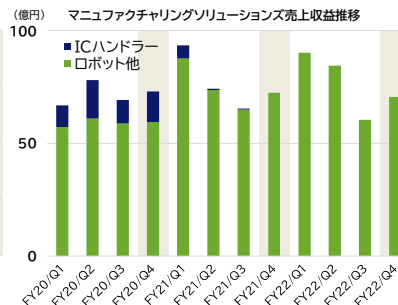
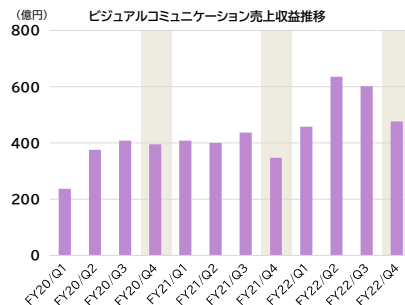
*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

(億円)

増減額	内為替 影響額	増減率
+3	+30	+0.8%
-1		-2.7%
-12		-15.2%
+6		+2.4%
+9		+17.8%
+1		-
-29	+8	-53.3%

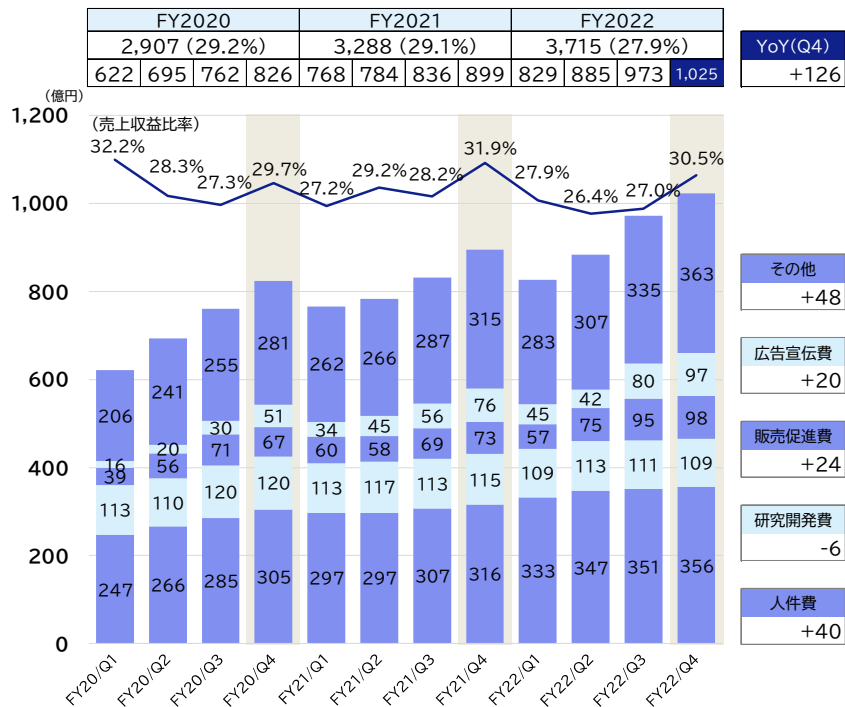
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- ・マニファクチャリングソリューションズは中国向け軟調で減収
- ・ウェアラブル機器は、国内市場は回復も海外が軟調で減収
- ・マイクロデバイス他は、水晶デバイスの一部で需要減少も、半導体需要が堅調に推移
- ・セグメント利益は、各事業の減収影響や、水晶デバイスの在庫影響などで減益

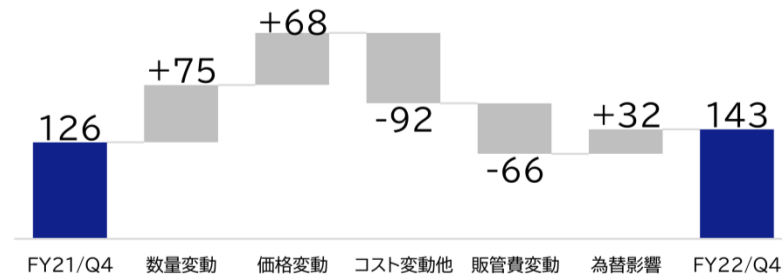


販管費変動：為替影響(+59億円)、事業活動正常化に伴い費用増

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因 (億円)



数量変動

- + プロジェクター、オフィス・ホームIJP、商業・産業IJP、小型プリンターなど
- 水晶デバイスなど

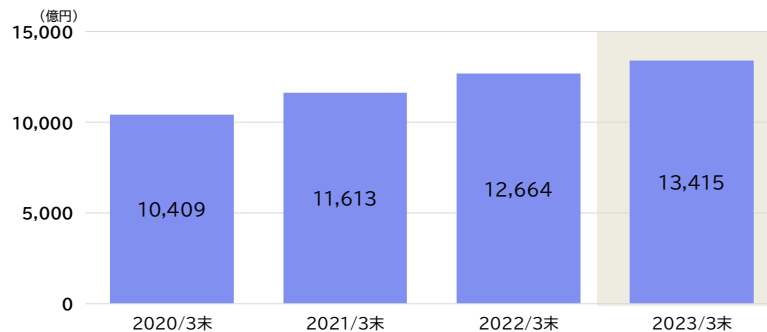
価格変動

- + プロジェクター、半導体、商業・産業IJPなど
- オフィス・ホームIJP

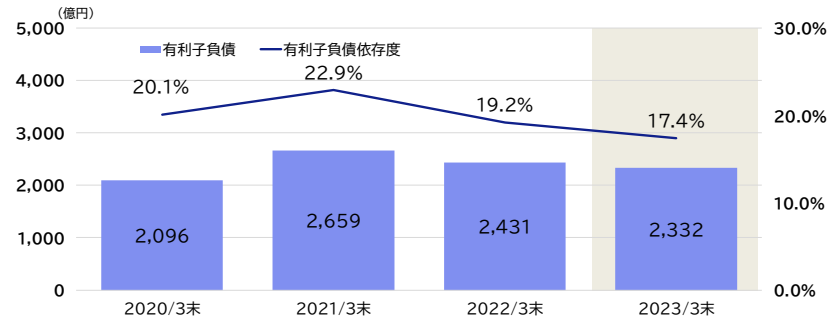
コスト変動他

- + 在庫影響など
- 部材費・物流費の増加、事業活動正常化に伴う費用増など

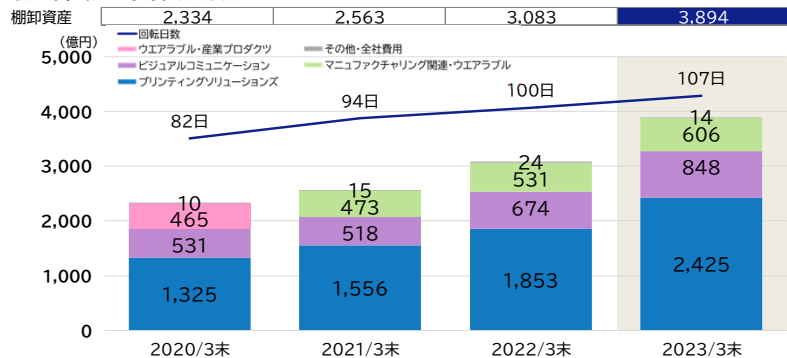
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



棚卸資産・回転日数

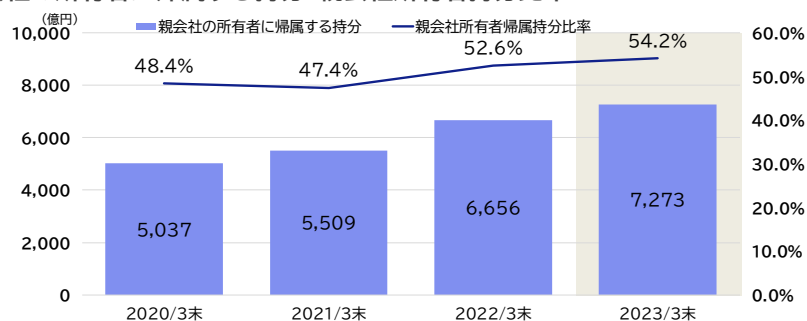


*回転日数(3月末)＝連結会計期末棚卸資産残高/連結会計期末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益

ネットキャッシュ

期末	ネットキャッシュ (億円)
2020/3末	-134
2021/3末	380
2022/3末	920
2023/3末	340

親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



- ご説明のポイント
- 第4四半期実績
- **2022年度通期業績**
- 2023年度通期業績予想・株主還元

(億円)	2021年度		2022年度		増減額/増減率			
	実績	%	1/31予想	%	実績	%	対前期	対1/31予想
売上収益	11,289		13,300		13,303		+2,014 +17.8%	+3 +0.0%
事業利益	896	7.9%	950	7.1%	951	7.1%	+54 +6.1%	+1 +0.1%
営業利益	944	8.4%	940	7.1%	970	7.3%	+25 +2.7%	+30 +3.2%
税引前利益	971	8.6%	960	7.2%	1,037	7.8%	+65 +6.8%	+77 +8.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	922	8.2%	670	5.0%	750	5.6%	-172 -18.7%	+80 +12.0%
EPS*1 (円)	266.73		200.89		220.75			
為替レート (円、指数)	USD	¥112.37	¥134.00		¥135.44			
	EUR	¥130.55	¥140.00		¥140.90			
	その他通貨*2	100	113		114			

■ 営業利益・税引前利益

- 2021年度と同様に2022年度は、円安進行による為替差益(その他の営業収益・金融収益)を計上
- マニファクチャリングソリューションズ事業の減損損失(その他の営業費用)を18億円計上

■ 当期利益

- 繰延税金資産の積み増しがあった2021年度に対して減益

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+777	+162	+501	+1,441
事業利益	-238	+100	+232	+94

事業利益の増減要因(対 2021年度実績)

- 2022年度上期の半導体調達難による供給制約影響に加え、インクカートリッジなどの販売減少により、数量変動は若干のマイナス
- SOHO・ホームIJP、商業・産業IJP、プロジェクター、マイクロデバイスなどで高値継続
- 部材・物流コストの上昇、生産拡大に伴う費用が増加
- 円安影響によるプラス

事業利益の増減要因

(億円)



(億円)

プリンティングソリューションズ	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/31 予想
売上収益	7,799	9,070	9,023	+1,224	+15.7%	-46
セグメント利益	1,064	950	893	-171	-16.1%	-56
セグメント利益率	13.7%	10.5%	9.9%			

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/31 予想
売上収益	5,663	6,570	6,534	+871	+15.4%	-35
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	4,453	5,210	5,199	+746	+16.8%	-10
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	511	640	617	+106	+20.8%	-22
その他*	698	720	717	+18	+2.7%	-2
事業利益	730	610	546	-184	-25.2%	-63
事業利益率	12.9%	9.3%	8.4%			

*スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/31 予想
売上収益	2,136	2,500	2,489	+352	+16.5%	-10
商業・産業IJP	1,515	1,680	1,681	+166	+11.0%	+1
小型プリンター他	620	820	807	+186	+30.1%	-12
事業利益	333	340	346	+12	+3.9%	+6
事業利益率	15.6%	13.6%	13.9%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- 下期に供給制約が改善し、大容量インクタンクモデルの販売が伸長
- インクは、インクカートリッジで在宅印刷需要の平常化が進み減少したものの、本体市場稼働台数の増加に伴い大容量インクボトルとオフィス共有インクは増加

◆ 販売動向(社内管理値に基づく指標)		FY21 実績	FY22 1/31予想	FY22 実績
オフィス・ホームIJP	伸長率	+8%	+5%	+2%
本体販売数量	約、万台	1,670	1,750	1,700
内 大容量インクタンクモデル		1,160	1,280	1,240
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		480	440	430
内 オフィス共有IJP		30	30	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	-2%	+2%	+3%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-6%		-7%

■ 商業・産業プリンティング

- 完成品は、COVID-19影響による一部商品の投入遅延などで販売伸長は限定的
- プリントヘッド外販ビジネスは、中国市場を中心に伸長
- 小型プリンターは供給制約が改善

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/31 予想
売上収益	1,590	2,150	2,168	+578	+36.4%	+18
セグメント利益	153	310	348	+195	+127.2%	+38
セグメント利益率	9.7%	14.4%	16.1%			

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績
販売台数(約、万台)	170	190	190
伸長率	+2%	+10%	+10%

*1社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

(億円)

マニュファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2021年度 実績	2022年度 1/31予想	2022年度 実績	対前期 増減額	対前期 増減率	対1/31 予想
売上収益	1,919	2,120	2,154	+235	+12.2%	+34
マニュファクチャリングソリューションズ ^{*2}	305	290	305	+0	+0.1%	+15
ウェアラブル機器	346	360	358	+12	+3.5%	-1
マイクロデバイス他	1,109	1,300	1,307	+198	+17.9%	+7
PC	189	210	219	+29	+15.4%	+9
事業間売上収益	-30	-40	-36	-5	-	+3
セグメント利益	230	260	283	+52	+22.9%	+23
セグメント利益率	12.0%	12.3%	13.1%			

*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

■ ビジュアルコミュニケーション

- 教育系を中心にCOVID-19影響から回復
- 供給制約改善により販売数量伸長、モデルミックス改善・価格対応により増収
- 従来進めてきた固定費抑制の効果があり、収益性の高い事業に変化

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニュファクチャリングソリューションズは、下期に中国市場での事業環境変化の影響を受ける
- ウェアラブル機器は、国内はインバウンド需要が回復傾向にあるものの、海外市場が軟調
- マイクロデバイス他は、価格対応のプラス影響により、下期に民生機器向けの需要に弱い動きが見られたものの増収

- Epson 25 Renewed発表以降、COVID-19影響、為替変動など外部環境は大きく変化
- 部材費高騰や供給制約が生じたが、価格対応や費用コントロールを実施
- 成長領域や新領域で将来成長に向けた仕込みは進む

	21~23年度	~25年度	~2025年度目標	2022年度実績	2025年度目標に向けた進捗・課題
成長領域	①オフィスプリンティング ②商業・産業プリンティング ③プリントヘッド外販 ④生産システム	成長戦略の実現	2020年度→2025年度 売上収益 CAGR +15% 以上	2020→2022年度 売上収益 CAGR* +16%	①オフィス向け商品ラインアップ整備進展 ②一部遅れはあったものの商品ラインアップの整備進展 ③顧客獲得は順調に拡大 ④事業環境変化の影響を受け伸長に課題
			2020年度→2025年度 ROS改善 +10pt 以上	2020→2022年度 ROS改善* +19pt	
成熟領域	⑤プロジェクション、 ウオッチ	構造改革	2020年度→2025年度 ROS改善 +10pt 以上	2020→2022年度 ROS改善* +19pt	⑤事業構造改革は前倒しで進展、収益性が改善
	⑥ホームプリンティング ⑦マイクロデバイス		収益性維持・向上	継続的に ROS 15% 以上	
新領域	⑧センシング、 環境ビジネス	ビジネス 立ち上げ	2025年度 売上収益 100 億円以上	2022年度 売上収益 3 億円	⑧要素技術開発は進展するが、 ビジネス化は進まず

*Epson 25 Renewed 発表時のFY2020予想とFY2022実績との比較

- ご説明のポイント
- 第4四半期実績
- 2022年度通期業績
- **2023年度通期業績予想・株主還元**

2023年度 通期業績予想 | ハイライト

(億円)	2022年度		2023年度		対前期	
	実績	%	予想	%	増減額	増減率
売上収益	13,303		13,600		+296	+2.2%
事業利益	951	7.1%	1,000	7.4%	+48	+5.1%
営業利益	970	7.3%	940	6.9%	-30	-3.1%
税引前利益	1,037	7.8%	920	6.8%	-117	-11.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	750	5.6%	660	4.9%	-90	-12.0%
EPS*1(円)	220.75		199.09			
為替レート (円、指数)	USD	¥135.44	¥129.00			
	EUR	¥140.90	¥142.00			
	その他通貨*2	100	97			

- 営業利益・税引前利益
 - ・2022年度は、円安進行による為替差益(その他営業収益・金融収益)を計上
 - ・2023年度の為替レートは、足元の水準からリスクを織り込みやや円高の前提

為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
売上収益	-33	-15	-42	-380
事業利益	+9	-9	-18	+10

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

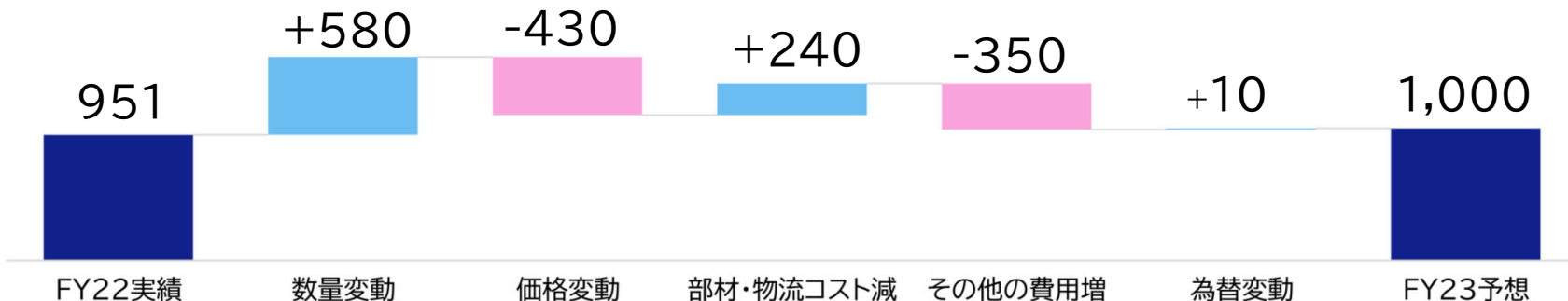
	FY22 上期	FY22 下期	FY23 上期	FY23 下期	環境変化
経済					<ul style="list-style-type: none"> ✓ インフレ継続による消費冷え込みなどで、世界経済成長は鈍化
供給制約					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 半導体調達難、物流混乱は改善
コスト					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海運運賃の改定などにより、物流費は減少 ✓ 高騰してきた部材費は横ばいで推移

事業利益の増減要因(対 2022年度実績)

- 供給制約が改善し、オフィス・ホームIJPや商業・産業IJPなどの販売台数が増加
- SOHO・ホームIJPなどで需給バランスの変動による価格低下を見込む
- 部材コストは高止まるものの、物流コストは海運運賃の改定などにより削減
- 販売数量の拡大に伴う生産やプロモーションなどの費用増加

事業利益の増減要因

(億円)



(億円)

プリンティングソリューションズ	2022年度 実績	2023年度 予想	対前期
売上収益	9,023	9,340	+316
セグメント利益	893	1,080	+186
セグメント利益率	9.9%	11.6%	

オフィス・ホームプリンティング	2022年度 実績	2023年度 予想	対前期
売上収益	6,534	6,600	+65
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	5,199	5,010	-189
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	617	880	+262
その他*	717	710	-7
事業利益	546	620	+73
事業利益率	8.4%	9.4%	

*スキナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2022年度 実績	2023年度 予想	対前期
売上収益	2,489	2,740	+250
商業・産業IJP	1,681	1,880	+198
小型P他	807	860	+52
事業利益	346	460	+113
事業利益率	13.9%	16.8%	

■ オフィス・ホームプリンティング

- 大容量インクタンクモデルは、先進国での認知度向上、新興国でのビジネス需要の回復を捉え伸長、需給バランスの変動による価格低下は見込む
- オフィス共有IJPは、供給制約の改善に加え、中速帯新商品の拡販により、LPからの置き換えを加速
- インク売上は、インクカートリッジが減少する一方、大容量インクボトルやオフィス共有インクが増加し、前期並み

◆ 販売動向(社内管理値に基づく指標)		FY22 実績	FY23 予想
オフィス・ホームIJP 本体販売数量	伸長率	+2%	+7%
	約、万台	1,700	1,830
内 大容量インクタンクモデル		1,240	1,400
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		430	390
内 オフィス共有IJP		30	40
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率	(円貨)	+3%	-2%
	(現地通貨)	-7%	

■ 商業・産業プリンティング

- 完成品ビジネス、プリントヘッド外販ビジネスともに、拡充したラインアップで成長加速
- 小型プリンターの供給制約も改善

ビジュアルコミュニケーション	(億円)		対前期
	2022年度 実績	2023年度 予想	
売上収益	2,168	2,130	-38
セグメント利益	348	310	-38
セグメント利益率	16.1%	14.6%	

■ ビジュアルコミュニケーション

- 市場規模は前年度並みで底堅く推移
- 収益性を重視した事業運営を継続するものの、セグメント利益は在庫でマイナス影響を受ける

◆ プロジェクターの販売動向¹⁾

	2022年度 実績	2023年度 予想
販売台数(約、万台)	190	200
伸長率	+10%	+5%

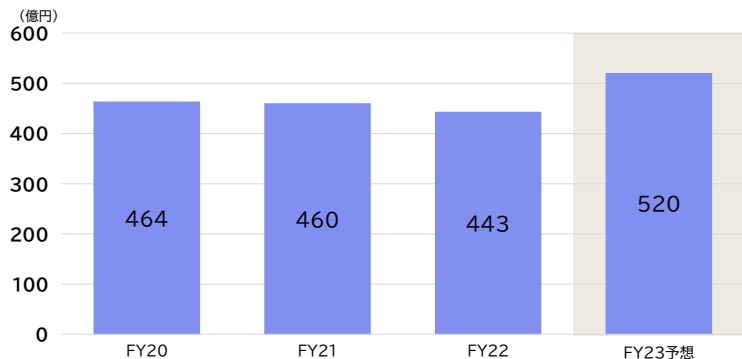
*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連・ウェアラブル	(億円)		対前期
	2022年度 実績	2023年度 予想	
売上収益	2,154	2,160	+5
マニファクチャリングソリューションズ	305	290	-15
ウェアラブル機器	358	340	-18
マイクロデバイス他	1,307	1,330	+22
PC	219	220	+0
事業間売上収益	-36	-20	+16
セグメント利益	283	220	-63
セグメント利益率	13.1%	10.2%	

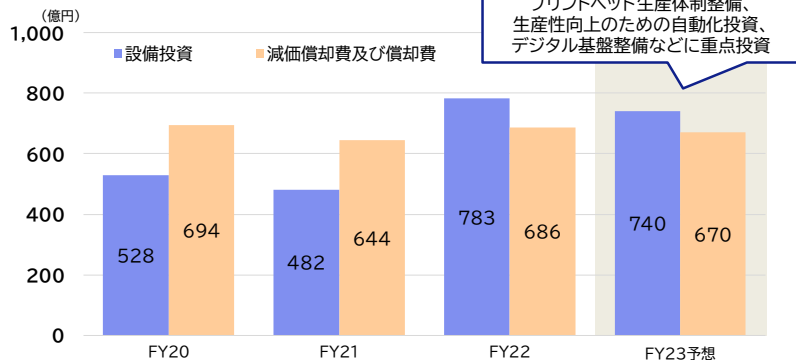
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニファクチャリングソリューションズは、民生機器の製造業向けが、中国市場を中心に軟調に推移
- ウェアラブル機器は、海外市場は軟調なものの、収益性の改善を継続
- マイクロデバイス他は、水晶デバイス市場で上期は在庫調整、下期からの回復を想定。半導体は内需などの需要は底堅いものの、事業利益は光熱費などの費用増加、当社在庫でマイナス影響を受ける

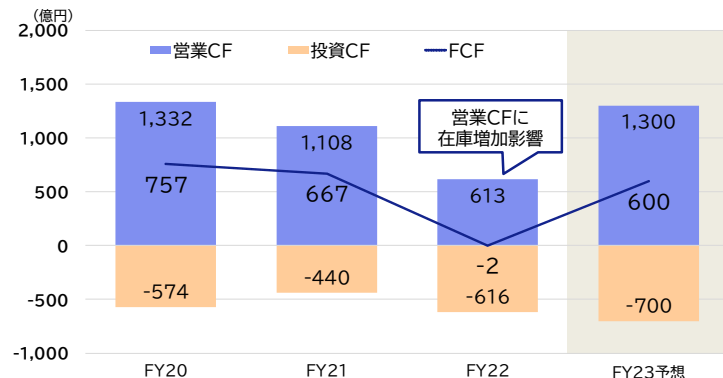
研究開発費



設備投資・減価償却費及び償却費



フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY20 実績	FY21 実績	FY22 実績	FY23 予想	FY23 目標	FY25 目標
為替レート:USD	106.01	112.37	135.44	129.00	-	-
為替レート:EUR	123.67	130.55	140.90	142.00	-	-
売上収益 (億円)	9,959	11,289	13,303	13,600	-	-
事業利益 (億円)	616	896	951	1,000	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	309	922	750	660	-	-
ROS *1	6.2	7.9	7.1	7.4%	8%以上	10%以上
ROA *2	5.6	7.4	7.3	7.4%	-	-
ROE *3	5.9	15.2	10.8	8.9%	10%以上	13%以上
ROIC*4	5.6	7.3	7.1	7.3%	8%以上	11%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

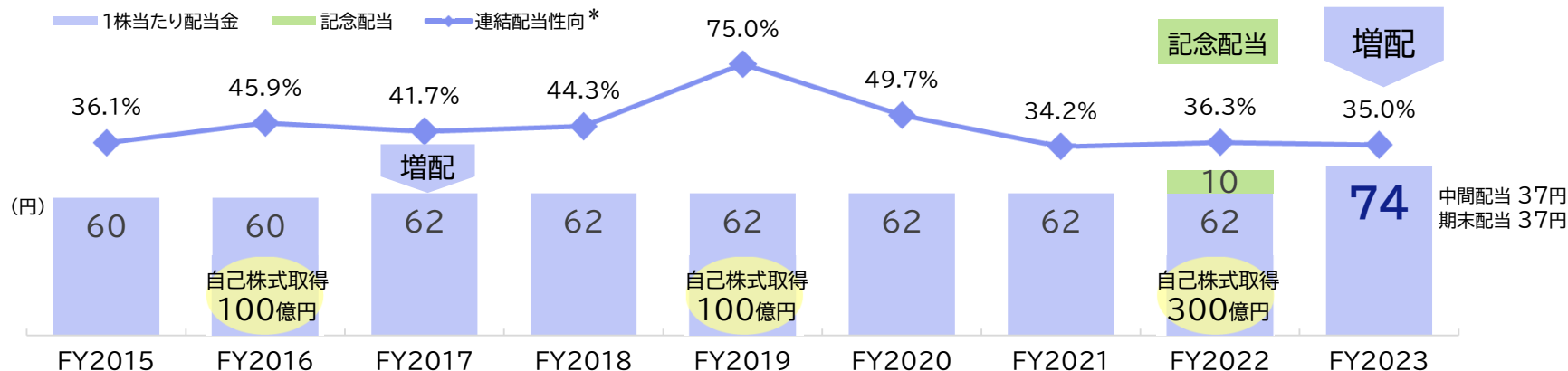
Epson 25 Renewed 目標値

■ 基本方針

- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む
 - ✓ 配当：中期的には連結配当性向* 40%程度を目標に、安定的な配当を継続
 - *事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出
 - ✓ 自己株式取得：株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に実施

■ 配当予想

- 2023年度の1株当たり年間配当は、普通配当が12円増配となる**74円**を予定



※2022年度・2023年度の配当は予想

ESG インデックス 組み入れ・ 格付け

- FTSE4Good Index Series : 19年連続
- FTSE Blossom Japan Index : 6年連続
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index: 初選定
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 : 初選定
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) : 6年連続
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 : 5年連続
- SOMPOサステナビリティ・インデックス : 11年連続
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動) : 3年連続
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」: 3年連続
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」: 3年連続
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」: 初選定

ESG 関連表彰・ 銘柄選定 など

- RBA*1監査の最高位プラチナ認定を海外主力工場を取得 (フィリピン・インドネシア・マレーシア)で取得:2022年
- 令和4年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」(地域共生部門):2023年2月
- 第4回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銅賞」:2023年2月
- 健康経営銘柄2023*2 : 2023年3月(2年連続)
- 日経225 : 2017年から選定

GPIFが採用する ESG国内指数5件全てに選定



緑字: 2022年4月以降に選定

*1 The Responsible Business Alliance 世界最大級のCSR推進企業同盟

*2 健康経営の目的・体制
<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

EPSON

補足資料

主要製品の販売動向

			FY2021 Q1実績	FY2021 Q2実績	FY2021 Q3実績	FY2021 Q4実績	FY2021 通期 実績	FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 Q3実績	FY2022 Q4実績	FY2022 通期 実績	FY2023 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	129.00
			EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	142.00
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホームIJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+85%	+20%	+10%	+10%	+25%	+9%	+31%	+42%	+26%	+27%	+3%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+74%	+14%	+3%	+4%	+18%	-4%	+12%	+23%	+15%	+12%	
		本体数量	伸長率	+63%	+4%	-8%	-5%	+8%	-19%	-1%	+20%	+10%	+2%	+7%
		本体数量	台数 (万台)					約1,670					約1,700	約1,830
		内 SOHO/ホーム向け 大容量インクタンクモデル	台数 (万台)					約1,160					約1,240	約1,400
		内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	台数 (万台)					約480					約430	約390
		内 オフィス共有IJP	台数 (万台)					約30					約30	約40
	オフィス・ホームIJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					41%					36%	35%
		売上収益(円貨)	伸長率	-7%	-4%	-2%	+6%	-2%	+3%	+3%	+2%	+6%	+3%	-2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-11%	-7%	-6%	+1%	-6%	-6%	-9%	-8%	-2%	-7%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+72%	+7%	+6%	-12%	+12%	+13%	+60%	+40%	+40%	+38%	-2%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+60%	+1%	-2%	-17%	+5%	+0%	+37%	+21%	+28%	+21%	
		本体数量	伸長率	+67%	-2%	-5%	-25%	+2%	-3%	+22%	+4%	+19%	+10%	+5%
		本体数量	台数 (万台)					約170					約190	約200

財務データ(2021年度・2022年度・2023年度予想)

EPSON

(億円)

		FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 実績	FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 実績	FY2023 予想
為替レート (円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30	141.55	132.28	135.44	129.00
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28	144.23	141.97	140.90	142.00
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,923	1,832	2,053	1,990	7,799	1,976	2,155	2,490	2,401	9,023	9,340
	セグメント利益	266	283	308	205	1,064	210	186	273	222	893	1,080
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,371	1,298	1,503	1,490	5,663	1,431	1,511	1,844	1,746	6,534	6,600
	事業利益	147	187	229	165	730	164	101	173	107	546	620
商業・産業プリンティング	売上収益	551	534	550	500	2,136	545	643	646	653	2,489	2,740
	事業利益	119	96	79	39	333	46	85	100	115	346	460
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	407	399	436	346	1,590	456	635	601	475	2,168	2,130
	セグメント利益	44	47	40	21	153	64	127	97	60	348	310
マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	495	458	474	491	1,919	560	572	527	495	2,154	2,160
	セグメント利益	56	56	61	56	230	86	94	76	26	283	220
全社費用・その他、調整額	売上収益	-4	-6	-2	-6	-20	-14	-10	-6	-12	-43	-30
	セグメント利益	-126	-132	-137	-155	-552	-134	-139	-134	-165	-573	-610
連結合計	売上収益	2,821	2,684	2,961	2,821	11,289	2,978	3,352	3,612	3,359	13,303	13,600
	事業利益	242	254	272	126	896	226	268	312	143	951	1,000
	ROS	8.6%	9.5%	9.2%	4.5%	7.9%	7.6%	8.0%	8.6%	4.3%	7.1%	7.4%
研究開発費		113	117	113	115	460	109	113	111	109	443	520
設備投資	プリンティングソリューションズ	51	60	64	107	284	78	92	106	196	474	440
	ビジュアルコミュニケーション	9	9	9	13	41	14	13	11	34	73	70
	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	14	21	32	45	113	17	30	33	67	149	150
	全社費用・その他	6	9	14	13	43	17	17	25	27	87	80
減価償却費	プリンティングソリューションズ	94	92	94	95	377	101	104	106	102	413	400
	ビジュアルコミュニケーション	26	25	25	25	103	27	26	25	23	102	100
	マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	21	21	21	22	87	23	24	25	25	99	100
	全社費用・その他	19	19	19	17	76	18	17	17	17	70	70
営業CF		213	349	310	234	1,108	-123	333	149	253	613	1,300
FCF		98	244	213	110	667	-309	186	23	96	-2	600

海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	107.54	106.16	104.48	105.86	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30	141.55	132.28
	EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28	144.23	141.97

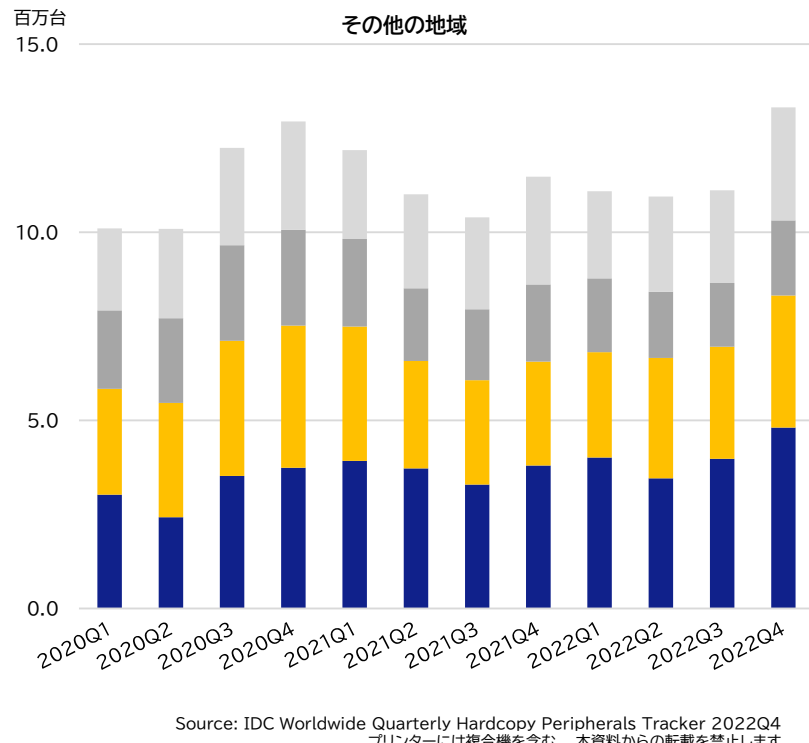
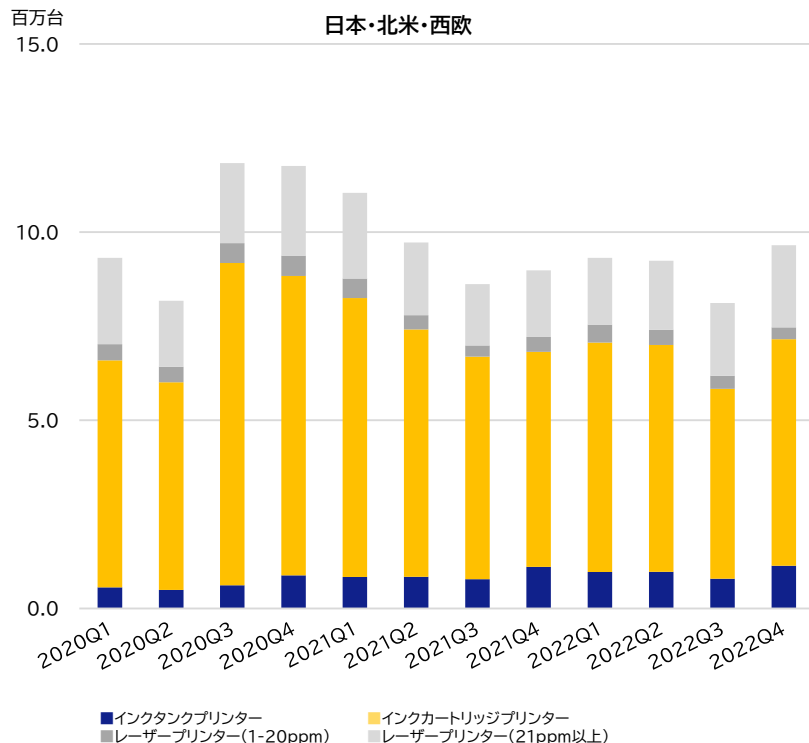
売上収益(億円)	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	対前年同期
米州	598	719	733	827	852	801	810	862	1,000	1,115	1,143	1,110	+248
欧州	397	500	587	598	583	571	623	617	573	683	785	780	+162
アジア・オセアニア	495	739	797	749	868	789	844	772	884	1,005	1,009	891	+118
海外売上収益計	1,490	1,959	2,119	2,175	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	2,938	2,782	+529
連結合計	1,932	2,459	2,788	2,779	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	3,612	3,359	+537

構成比	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4
米州	31.0%	29.3%	26.3%	29.8%	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%
欧州	20.6%	20.4%	21.1%	21.5%	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%
アジア・オセアニア	25.6%	30.1%	28.6%	27.0%	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%
海外売上収益計	77.2%	79.7%	76.0%	78.3%	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%

従業員数

期末従業員数(人)	2020/6末	2020/9末	2020/12末	2021/3末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	対前年同期
国内	19,962	19,723	19,620	19,470	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	20,174	20,124	+419
海外	57,107	59,287	62,618	60,474	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	64,308	59,782	+1,845
連結合計	77,069	79,010	82,238	79,944	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	84,482	79,906	+2,264

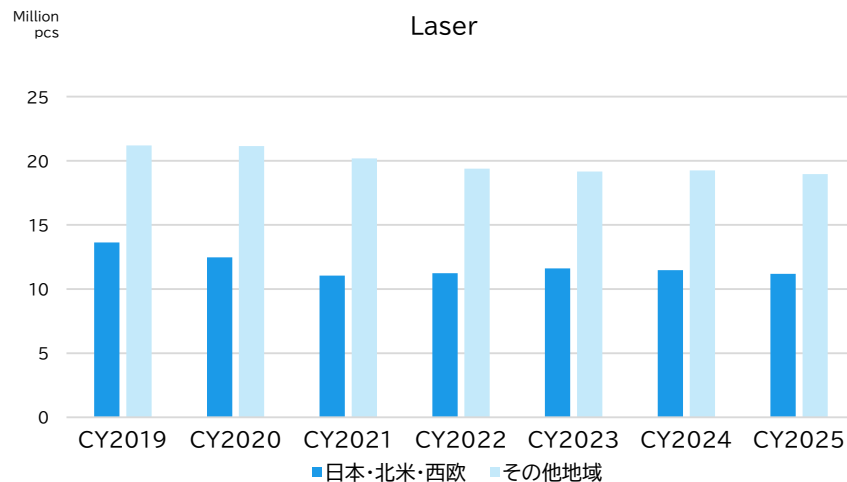
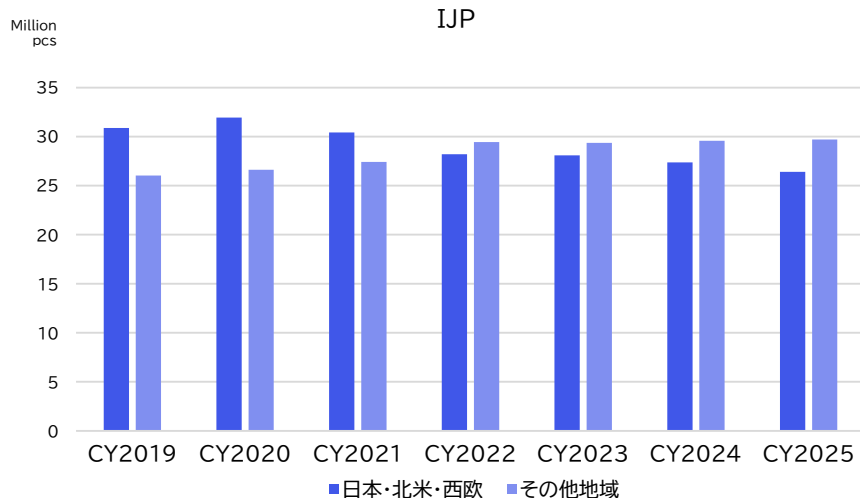
A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



プリンター本体

- 日本・北米・西欧では、COVID-19影響により発生した主に家庭での一時的な印刷需要増は収束。今後は緩やかな減少を見込む
- その他地域は、店舗・小規模オフィスを中心にCOVID-19影響による市場停滞から回復し、今後は安定的な推移を見込む

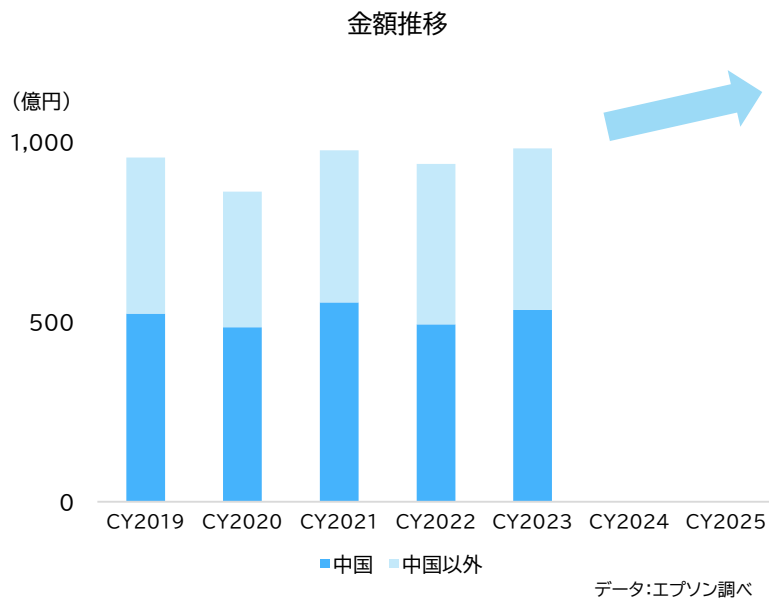
- 主にオフィスでの印刷需要は、在宅勤務・分散印刷が定着することでCY2019水準には回復しないが、安定的に推移



Source: IDC Worldwide Hardcopy Peripherals Tracker 2022Q4
 プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します

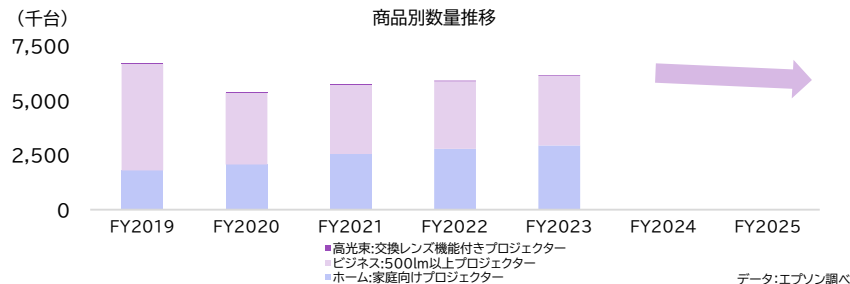
プリントヘッド外販

- 主要市場である中国を中心にCOVID-19の影響を受けたが
今後は伸長



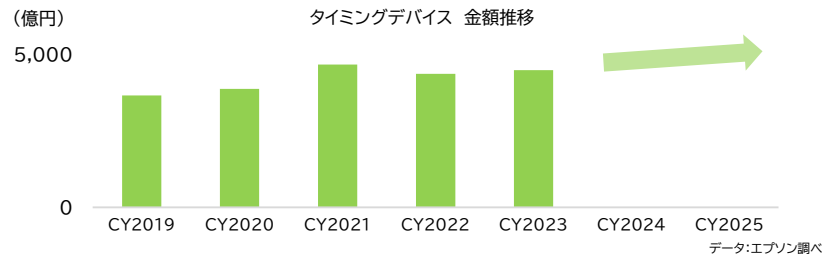
プロジェクター

- オフィス・教育向けはFPDによる侵食が見込まれるものの、ホーム向けスマートプロジェクターや高光束プロジェクターの需要増により今後も一定規模を保つ



水晶デバイス

- COVID-19影響による変動はあったが、デジタル機器・IoT機器・通信インフラの増加などにより継続的に拡大



イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要商品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器	マイクロ デバイス他	PC
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p> <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p> <p>大容量インクパックモデル (RIPS)</p> <p>高速 ラインインクジェット 複合機 (LIIJ)</p> <p>オフィス向け インクカートリッジ モデル</p> <p>SIDM</p> <p>スキャナー</p> <p>乾式オフィス製紙機</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p> <p>フォト</p> <p>コーポレート</p> <p>サイネージ</p> <p>ラベルプリンター</p> <p>テキスタイル</p> <p>ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p> <p>IJPプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p> <p>小型プリンター</p> <p>小型ラベルプリンター</p>	<p>高光束</p> <p>超短焦点</p> <p>スタンダード</p> <p>ホーム</p> <p>小型 ライティング</p> <p>スマートグラス</p>	<p>ロボット</p> <p>スカラ</p> <p>6軸</p> <p>オプション</p> <p>小型射出成形機</p>	<p>エプソンブランド</p> <p>TRUME</p> <p>オリエント</p> <p>ムーブメント</p> <p>セイコービジネス</p>	<p>マイクロデバイス</p> <p>水晶デバイス</p> <p>EPSON (Epson) (JAFPA)</p> <p>半導体</p> <p>微細合金粉末</p> <p>表面処理加工</p>	<p>エプソンダイレクト PC</p>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

EPSON